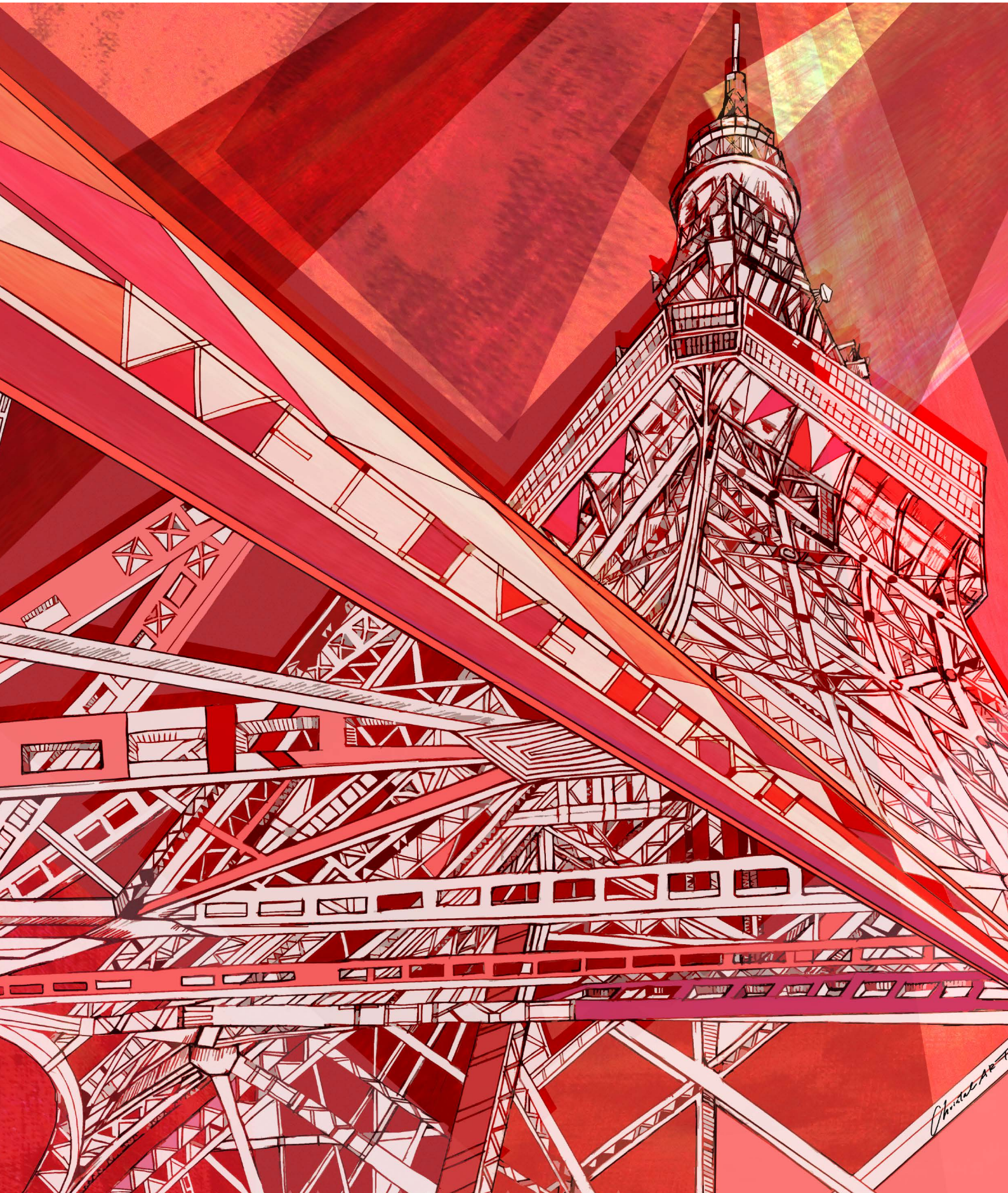
住まいの飾り職人“アトムリビンテック株式会社”の広報誌［アトムニューズ］

ATOM NEWS 221

2025 SUMMER



つかってみると
なんだかうれしい
ここちいい

KANAGU

kanagu-store.com

東京ウォーターグラス 風波
pool 菓子皿 round
copper coaster 5枚組
petal tray

ギャラリーショップKANAGU 東京都港区新橋4−31−5 アトムCSタワー1階 TEL.03-3437-7750 営業日・営業時間はHPをご覧ください

221

2025 SUMMER

CONTENTS

3 アテナの道具箱 東京銀器職人 亘理 立さん

6 石の神さま仏さま 山の神社の福助さん

7 知っておきたい物と素材のチカラ ハサミ

9 古今東西たてものがたり 千葉市稲毛区 旧神谷傳兵衛稲毛別荘

13 ATOM's EYE 春の新作発表会2025 in 東京

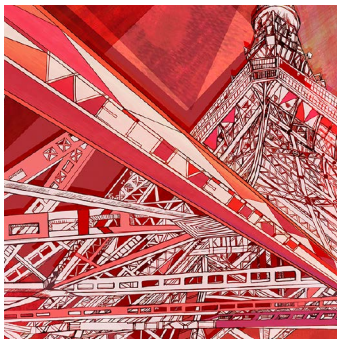
15 CS TOWER information 亜吐夢金物館のトリセツ

17 ごとうゆきの コウベ下町探検 長田区駒ケ林界隈編

18 オフタイムの過ごし方

今号の表紙

東京タワー



高さ333メートル、今なお東京を代表するシンボル的な存在の東京タワー。スカイツリーとはまた違う、ノスタルジックな魅力を感じる鉄塔建築。下から見上げた時の見え方が素敵で、そのイメージでシルクスカーフをデザインしました。東京タワーの魅力をどう表現したらいいか、複雑さゆえになかなか着手できずに数年がたってしまったのですが、鉄骨の構造を活かして幾何学的に表現したり、隠し文字を入れたりして、ようやくスカーフとして形にできました。思いもひとしおな一枚です。

堀田 真澄［Masumi Hotta］

「ファッション＆アート」のコンセプトを軸に、生活に身近に溶け込む雑貨などにもデザインを落とし込み、自身のブランド『クリスタルアート』独自の世界観を表現しています。ギャラリーショップKANAGUにも作品を展開していただいています。日ごろから、動物や植物のモチーフをデザインに多く取り込んでいます。

Present 読者プレゼント

● 銀雅堂「開運厄除け 招き猫」

ものづくりのまち富山県高岡市にある老舗のものづくり総合メーカーが手がけるインテリアブランド「銀雅堂」から、愛らしい縁起物・手のひらサイズの招き猫をご紹介します。
右手を上げた招き猫は、「福を招く」とされる存在。漆で描いた模様に金粉を蒔く「うるし手書き蒔絵」技法を用い、職人が一つひとつ丹精込めて仕上げました。黒い招き猫は、厄除け・魔除けに。古来、黒猫は「夜でも目が利く」「霊力を持つ」と信じられ、「福猫」と呼ばれています。白い招き猫は、開運招福や商売繁盛を願うもの。お客様を招き、幸せな日々をそっと見守ります。開店祝いの贈り物にもぴったりです。

［サイズ］本体：W53×D53×H79mm ［材質・仕上げ］合金製 金鍍金、塗装仕上げ
［重量］約290g ［販売価格］各13,200円（税込）

アンケートにお答えいただいた方のなかから抽選で2名様にプレゼントいたします。
www.atomlt.com/contact/an_anq_form-2
締め切り 2025年8月31日（日）

- 当選者の発表はプレゼントの発送をもってかえさせていただきます

ギャラリーショップKANAGU

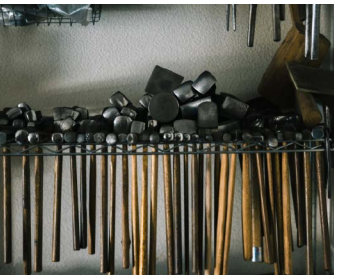
職人・金属・手しごとをキーワードに、こだわりのアイテムを取り揃えています。どうぞお気軽にお立ち寄りください。

アテナの道具箱

ATHENA'S TOOL BOX

VOL. XIX

鍛と技



東京銀器職人 **亘理 立**

RYU WATARI

昭和50（1975）年、東京生まれ。高校卒業後、東浦銀器製作所入社。二代目・石黒光南氏に師事し、銀器職人の修業をスタート。平成19（2007）年に東京銀器伝統工芸士資格を取得。平成24（2012）年、独立して「光立工房」を設立。第9回全日本金・銀創作展入賞。第32回全国伝統的工芸品コンクール入選。第10回全日本金・銀創作展にて田中貴金属工業（株）賞入賞など、受賞多数。

― 鍛金の技法 ―

銀板を金槌で叩く音が響いている。カンカン。コンコン。キンキン。

リズミカルにテンポよく、かつ慎重に。叩く場所や銀板の厚み、作業工程の違いによって、音は微妙に変化する。手作業による「鍛金」という技法で作られているのは、茶を淹れるための銀の急須だ。

「小さな急須も大きな湯沸かしや水指も、一枚の銀板から作業は始まります」

四角い銀板を円形に切り出し、バーナーで火を入れて柔らかくし、金槌で叩きながら成形していく。叩いて「延ばす」のではなく、「絞る」。絞るとは、金槌で地金を叩きすぼめ、押し縮める工程を何度も繰り返し、全体をまとめていく作業を指す。「それが鍛金の基本です」

もともとは江戸時代中期に、銀師（しろがねし）という銀器職人が作品を作っていたのが「江戸銀器」の始まり。現在は伝統的工芸品に指定され「東京銀器」と呼ばれている。

― 銀器と職人 ―

銀器との出合いは、高校卒業を間近にひかえたときだった。

進学ではなく就職を考え「子どものころからレゴや折り紙が得意だったし、アクセサリーを身につけるのが好きだったから、何か手作りできる仕事がいいな」と漠然と思っていた。

父の紹介で何社か訪問する中、ある日出かけたのが修業先となる「東浦銀器製作所」だった。作業を見学しながら、ふと目に留まったのが、白髪で小柄な職人さんだった。見たとたん「あ、いいな」と直感。ひたむきに銀器と向き合う職人さんに心を動かされた。その真摯な姿が、十八歳の少年の人生を決めた。

師匠となったのは、端麗な銀器を数多く手がける二代目・石黒光南氏。修業の第一歩は道具を憶えることからスタートした。だが、金槌だけで何十種類。頼まれて持っていくと「違う」と言われる。別のものを渡しても、また「違う」と。

「ほとんど一緒に見えるけれど、小口の高さも丸みも微妙に違うから、使い方も違うんです」

最初のうちは、そんな戸惑いの毎日だった。

― 師弟の絆 ―

師匠から「いまから三年かけて湯呑みを一個できるようにしてやるよ」と言われたのは、修業三年目のこと。湯呑みに三年もと驚いたが、たしかにそれだけの時間がかかった。自分でも納得ができる作品ができたら「じゃ、こんどは急須だな」と。

アテナ（Athena）とは知恵、芸術、工芸をつかさどるギリシャ神話に登場する女神

取材・文 倉田ひさし　撮影 吉田周平

ふたたび新たな仕事に取り組み、師匠から認めてもらえる急須ができたときに、入社して八年という年月が過ぎていた。

いまも記憶に残る失敗もあった。師匠から「霰模様を叩いておいて」と指示されたときのことだ。

緊張したせいか思うように作業ができない。「上と下を叩くための鏨のサイズが合っていなくて、気がついたら穴が開いてしまった」。とんでもないことをしたと怒られるのを覚悟したが、師匠は「溶接して穴埋めしておいたから大丈夫だよ」と、ひとこと。弟子の失敗をすべて自分で受けとめてくれたのだ。

鍛金による急須や湯沸かし作りは作業工程が多く、高度な技術が必要である。それが習得できて初めて、銀器職人として「一人前」といわれる。

その技術が評価され、入社十二年目で「伝統工芸士」の資格を取得。十九年という修業期間を経て独立し「光立工房」を設立したのは三十七歳のときだった。

― 精緻な技 ―

銀器作りのための基本的な設計図はある。だが、地金を叩き絞っていく作業に「正解」はないから、作品には職人ひとりひとりの個性が出てくる。それぞれが少しずつ作風や味わいも異なる。

「たとえ無駄に思えるようなことでも、遠まわりしながら作っている。正解はないけれど、なによりも完成度が重要だと思う」

安定感のある胴の曲線、表面に施された模様や色、使いやすい注ぎ口。すべてに心をこめ、切り出しの作業からパーツの組み込み、取手に使う籐も自分で巻く。さらには「金古美」という液体で作品に古色をまとわせる作業まで、一貫工程を独りで手がける。

作品が備える機能美はもちろん、急須を九十度傾けても蓋が外れず、ぴったりと収まったままという精緻さが、匠の技の証だ。

「自分は芸術家ではなく、一職人」と語る。その言葉に、熟練の技を鍛えた職人としての矜持が溢れている。

50

滋賀県東近江市　阿賀神社 福助

山の神社の福助さん

お寺や神社の境内の片隅や道すがらにひっそりと立つ、石の神さま・仏さま。時によっては、立派なお堂の中に祀られた国宝の仏像よりも力強く、何かを語りかけてくれます。

わたしは福助と申します。
仲間たちは商売繁盛の神として
お店の前にいることが多いですね。

でも、今わたしがいる場所は、
天狗さんが棲む山の上の神社です。
なぜここにいるのかはわからないけれど、

「おや、福助さんだ。珍しいね」と、
お参りの人たちが声をかけてくれる。
それだけでわたしもうれしくて、
もっと福をあげたいなと思うのですよ。

福助［滋賀県東近江市 阿賀神社（太郎坊宮）］

滋賀県東近江市の阿賀神社は険しい岩山の上にあり、阿賀神社を守護する太郎坊という天狗にちなんで「太郎坊宮」という通称名があります。勝運のご利益がある神社で、経営者やスポーツ選手などのお参りが多いとのこと。山中には願いを叶える「一願成就社」もあり、七福神とともに、商売繁盛の神である福助さんの像も祀られています。

● 近江鉄道「太郎坊宮前駅」下車 徒歩20分

文・写真　吉田さらさ

寺と神社の旅研究家。日本各地に取材し、石の神様、仏様の像の写真を撮って「お言葉」を考えるのがライフワーク。『明日がちょっと幸せになる お地蔵さまのことば』（ディスカヴァー・トゥエンティワン）、『石仏・石の神を旅する』、『長崎の教会』（いずれもJTBパブリッシング）など、著書多数

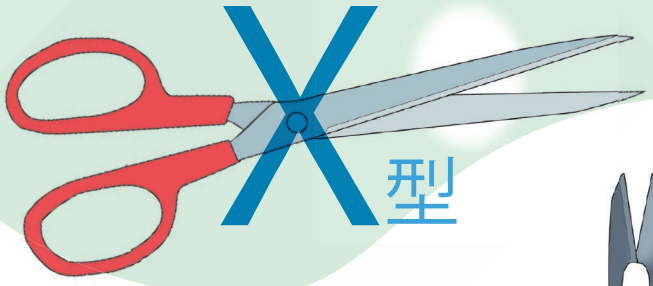
世の中で長く生き続けている素材には、理由があるに違いありません。それをひもといてみましょう。

知っておきたい物と素材のチカラ

ハサミ

2枚の刃を交差させて自由に物を切ることができる便利な道具、それがハサミです。

ハサミはU型とX型のふたつの形に分かれる



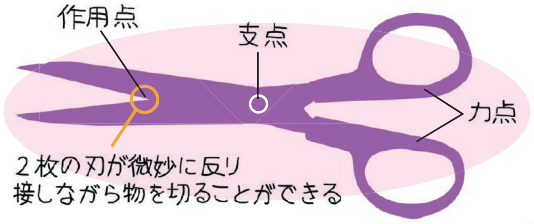
ハサミの原型は羊の毛刈り道具

世界最古のハサミとされるのが、紀元前1000年頃、ギリシャで作られた羊飼いが使用していた握り型のものといわれています。

その後この形はあまり広まらず、世界の端っこの日本で和バサミとして細々と存在していました。

ふだん皆さんが目にしているハサミは、X型のハサミだと思います。この形のハサミは紀元前27年、古代ローマ時代のものが発見されています。用途としてはやはり羊の毛刈りであり、また女性の長い髪を切るのにも使われていました。

ハサミは「てこの原理」で切れる



裁ちバサミ

日本では刀からハサミに化けた

日本のハサミ文化は、中国から伝来した握りバサミが始まりとされています。最古のものとしては、奈良県の珠城山古墳から出土したものがあるほか、あの源頼朝の妻、北条政子のものとされる菊の紋章入りの握りバサミが伝わっています。

X型の洋バサミは、銅に金メッキを施した「白銅剪子」が正倉院に保存されています。

またポルトガル人による鉄砲伝来の頃にもX型の洋バサミは入って来ましたが、植木の手入れや手術など特殊な状況だけに使われていました。

このX型の洋バサミが現在のように広まっていったのは、明治維新以降、文明開化とともにさまざまな変化が訪れたためです。服装が着物から洋服に変わり始めるとともに、これまでの着物の布よりも厚いラシャの生地を切るために西洋から大量の洋バサミが輸入されました。しかしその洋バサミは切れ味はいいのですが、日本人には大きすぎたために使いづらかったのです。

その後明治時代になると、廃刀令により刀の需要がなくなります。刀を作っていた刀鍛冶はその技術を使って軽く切れ味の良いハサミの製作に挑みました。その中でも吉田弥十郎という刀鍛冶の作る洋バサミが評判を得て広まっていき、現在では世界中で評価されるようになったのです

理容師のハサミ

ハサミは理容師の命です。その刃は切れ味がよく、時には自分の指を傷つけてしまうことがあるほどです。そのため、ネジの調節や、刃研ぎは欠かすことができません。

理容師は、ベーシック、セニング、スライドの3種類のハサミを常に携帯し髪の毛を整えているのです。

世界3大刃物産地

● ドイツのゾーリンゲン

ライン川支流のブッパー川の水力を使用できたことと豊富な森林、それに加えて鉄鉱石が採れた。もちろん伝統的な技術を持つ職人がいた。

● 日本の岐阜関市

関市の刃物は、仕上がりが良く切れ味も良く、刃こぼれも少ないので世界的な需要を得ている。

● イギリスのシェフィールド

とくにフォールディングナイフ(折り畳み式ナイフ)、缶切りが付いたナイフが有名である。

＊もちろん他にも多くの産地があります

理容師が使う基本の3種類のハサミ

医師の使うハサミ

マイクロバサミ(持ち手部分が長く先端が細くて短い)や先端が反っているクーパー剪刀、先の短いメイヨー剪刀などが使用されています。

植木職人とハサミ

庭師の剪定バサミは、とても古くから庭師や林野関係の人たちで使われてきたものです。細い枝からある程度の太さの枝まで切れる丈夫なハサミです。

世界建造物巡り

マサイ族は遊牧民ですが、移住して家を持つ者もいます。家は、木の枝を組み合わせて壁を作り、さらにその上に牛のフンと赤土、草などを混ぜ合わせて壁を作り、乾燥させます。牛フンは乾燥すると匂いはほとんど気になりません。マサイ族では女性が家を造ります。

ケニア

マサイ族の住居

職業に応じたハサミのいろいろ

X 型バサミ

紙切りバサミ

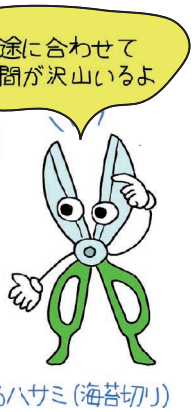
肉切りバサミ、食卓用、カニ切り

革切りバサミ(革専用)

裁ちバサミ(布地)

セラミックのハサミ

折り畳みバサミ(携帯用)



刃先が特徴的なハサミ

刃先が長いハサミ

刃先が曲がったハサミ

1回で細かく切ることができるハサミ(海苔切り)

塩浦 信太郎
信太工房主宰／カラクリ作家。博物館や科学館へのカラクリの貸し出し、ホテルなどからのオーダーによる作品制作、ほかにデパート各店での展示販売などを行っている

千葉市稲毛区・旧神谷傳兵衛稲毛別荘

取材・文　倉田ひさし　撮影　大垣善昭

日本の「ワイン王」と称された明治の実業家・神谷傳兵衛の稲毛別荘は、大正七（一九一八）年に竣工した。当時は、母屋であった木造の和館と、ゲストハウス用として利用された洋館が隣接していたが、和館は昭和三十九（一九六四）年に取り壊され、現在は洋館のみが残っている。関東大震災でも倒壊を免れた建物は、複数の所有者を経て千葉市に寄贈され、平成九（一九九七）年に、国の登録有形文化財に指定された。

鄙びた海辺の町の別荘

かつては別荘の目の前に、青く美しい海が広がっていた。

半農半漁の鄙びた海辺の町・稲毛に、千葉県初の海水浴場ができたのは、明治二十一（一八八八）年のこと。その後、鉄道駅の開業に伴って海水浴や潮干狩りの人々で賑わうようになり、多くの旅館や別荘が建てられた。関東を代表するリゾート地として発展をとげたのである。

この地に明治の実業家・神谷傳兵衛の別荘が竣工したのは大正七（一九一八）年。神谷は日本にワインや洋酒文化を広めた第一人者と称されている。幼い頃は貧困に苦しみ、わずか八歳にして酒造家になることを夢見て商売見習いや行商などで経験を積んだ。その後、フランス人が経営する酒類醸造場「フレッレ商会」に雇われ、洋酒製造法を習得することになる。

そんなある日、過労のせいか体調を崩したとき、雇い主からワインを勧められ、飲んでみると驚くほど元気を取り戻した。これをきっかけにワイン造りに目覚めたという。ワインに馴染みがなかった日本人でも飲みやすいよう、蜂蜜や薬草を加えた「蜂印香竄葡萄酒」を販売すると大ヒット商品となった。日本の「ワイン王」と呼ばれるゆえんである。

モダンな雰囲気の外観

高台に建つ別荘は、鉄筋コンクリート造りで、地上二階地下一階。当初は母屋である木造の和館が隣接していた。

来客用であった洋館の正面玄関は、簡素なトスカナ式の円柱に支えられた五連

洋館らしい趣を見せてくれる半円形アーチと、永遠の繁栄を意味する縁起の良い模様といわれる市松模様の英国製タイルがモダンな雰囲気を感じさせる

「ワイン王」の美意識が薫る洋館

の半円形アーチが美しい。全体としてはネオロマネスク様式を基調とし、シンプルで幾何学的なデザインが印象的だ。アーチの装飾や換気窓などの細部に、アールヌーボーやゼセッションといった同時代のスタイルの影響が見てとれる。

玄関ポーチ兼ベランダには、英国から取り寄せたタイルが市松模様に配され、モダンな雰囲気が漂う。玄関ホールを見上げれば、シャンデリア付け根の中心飾りには葡萄の実と葉のレリーフ。ワインに魅せられた神谷らしい意匠といえるだろう。

二階へとつづく階段は、欅の一枚板を使用し、流麗な曲線を描く手すりは、二代目神谷傳兵衛の孫たちが滑り降りて遊んだというエピソードも残っている。客人を迎えたメインの洋室には暖炉があり、マントルピースは白色大理石製。炉脇にはアールヌーボー調の図柄の英国製ビクトリアンタイルが使われ、細部にも贅をこらしたデザインが施されている。

ワイン王を象徴する意匠

二階へ歩を進めると、洋館のイメージは一変する。

洋館の中に和室を組み込んだ様式は初期の貴重な作例のひとつである。主室は十三・五畳に四畳の床の間があり、棚と付書院を配した数寄屋風の書院造り。周囲には畳敷きの広縁をめぐらしている。小障子が組み込まれた猫間障子には三大唐木に数えられる「鉄刀木（たがやさん）」が使われ、杉の一枚板をくり抜いた木瓜形（もっこうがた）の飾り窓がひときわ目を引く。

天井は囲炉裏で長年燻された飴色の煤竹を組んだ「折上げ格天井」。床の間の天井は竹の皮で編んだ「網代天井」で、床柱にはフランスから取り寄せたともいわれる葡萄の古木が用いられている。

さらに付書院の欄間には葡萄と蜂と蜻蛉が透かし彫りされ、広縁の欄間には、竹格子に葡萄の蔓が絡んでいる意匠。和室全体を葡萄畑に見立てた仕上げで、ワイン王を象徴する仕掛けが随所に施されているのだ。

ゼセッション風のシンプルな親柱となだらかな曲線が美しい階段。天井には葡萄をかたどったレリーフを見ることができる

電氣ブランの生みの親

この別荘を愛した神谷は、春には庭園のツツジを眺めて愉しみ、おもに土曜日から月曜日の週末に、海辺の空気を吸って養生した。

実際に使われていた暖炉前の床は幾何学模様の寄せ木張り

賓客や友人を迎えるための応接間として使われた1階の洋室。大きくとられた窓の向こうには海辺の光景が広がり、海風と潮の香りが漂っていた

アトムの視点

窓や扉についている金物は、どの金物も全体的にまるく、かわいらしいものばかり。神谷傳兵衛亡きあと、所有者が変わり幾度かの改装の中で、建具も作り変えられたそうですが、現在ついている金物は平成の修繕の際に、建物に合わせて作り直されたとのこと。まるで建設当初からの金物かと思うほど、建物の雰囲気に合っています。別荘に見学に訪れた建築やデザインを学ぶ学生さんたちも、金物に注目するそうです。

彼は日本初の洋酒酒場である「神谷バー」や、多くの文学作品に登場する「電氣ブラン」の生みの親であり、茨城県に建造された本格的ワイン醸造所「牛久シャトー」の創設者としても知られる。

神谷は生涯を日本人のためのワイン造りに捧げたが、その業績を惜しまれつつこの世を去ったのは大正十一（一九二二）年のこと。別荘は関東大震災にも耐えて倒壊を免れたものの、戦後は進駐軍に接収され、米軍将校の家族の住まいとなった。その後、別荘の所有者は変わったが、昭和五十九（一九八四）年に千葉市に寄贈され、保存修理を経て現在に至っている。

だが時代の流れには逆らえず、別荘前から海は埋め立てられ、松林の代わりにビルや団地が立ち並び、海岸線は遥かに遠ざかった。

かつての海辺リゾート地の賑わいは失われた。だが旧神谷傳兵衛稲毛別荘は、ワイン王の想い出を伝えながら、いまも佇んでいる。

生涯にわたりワイン造りに情熱を注いだ神谷傳兵衛は、晩年に建てたこの別荘の和室にも葡萄への想いをこめた意匠を各所に取りいれている

旧神谷傳兵衛稲毛別荘（千葉市民ギャラリー・いなげ内）

- 所在地：千葉県千葉市稲毛区稲毛1-8-35
- TEL. 043-248-8723
- 開館時間：9:00～17:15（入館は17:00まで）
- 休館日：月曜日（祝日の場合は翌平日）、年末年始
- 入館料：無料
- アクセス：京成稲毛駅より徒歩7分
  JR稲毛駅より徒歩17分。国道14号下り車線沿い稲毛浅間神社前交差点より300メートル
- ホームページ： https://galleryinage.jp

和室を囲む畳敷きの広縁と、障子の一部に開閉できる小障子を組みこんだ猫間障子が独特の直線美を醸しだしている

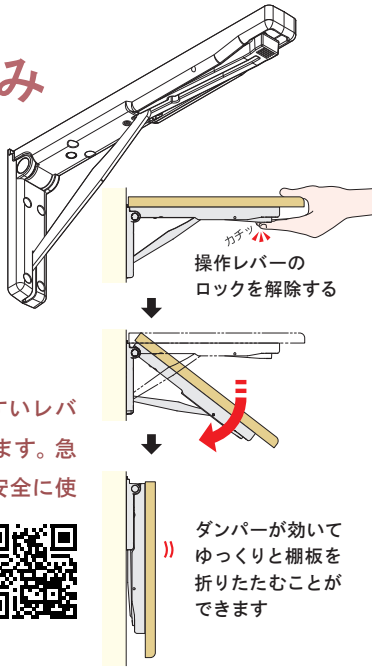
去る4月17日（木）～19日（土）、アトムCSタワーにて、人に寄り添い住まいを飾る「春の新作発表会2025 in 東京」が開催されました。室内の広い開口を仕切るのに最適な「シンクロ連動引戸」や「移動間仕切り」、「大型重量引戸」など、さまざまな建具の納まりのご提案をはじめ、4月に発刊された弊社総合カタログ「アトムデータライン2025▶2027」に掲載の新商品を、建具や家具に取り付けた状態で幅広く展示いたしました。多くの方々にご来場いただき、ありがとうございました。

滑らかな動きで折りたたみできて操作もカンタン

ダンパー付き折りたたみ棚受け
legarie〈レガリエ〉

ダンパーが内蔵されているので、握りやすく操作しやすいレバーを押すだけで、棚板をゆっくり折りたたむことができます。急な落下と、閉じるときの衝撃や騒音を防ぐことができ、安全に使用できることがメリットです。

紹介動画 ▶



爽やかな風を通してくれる室内用可動ルーバー

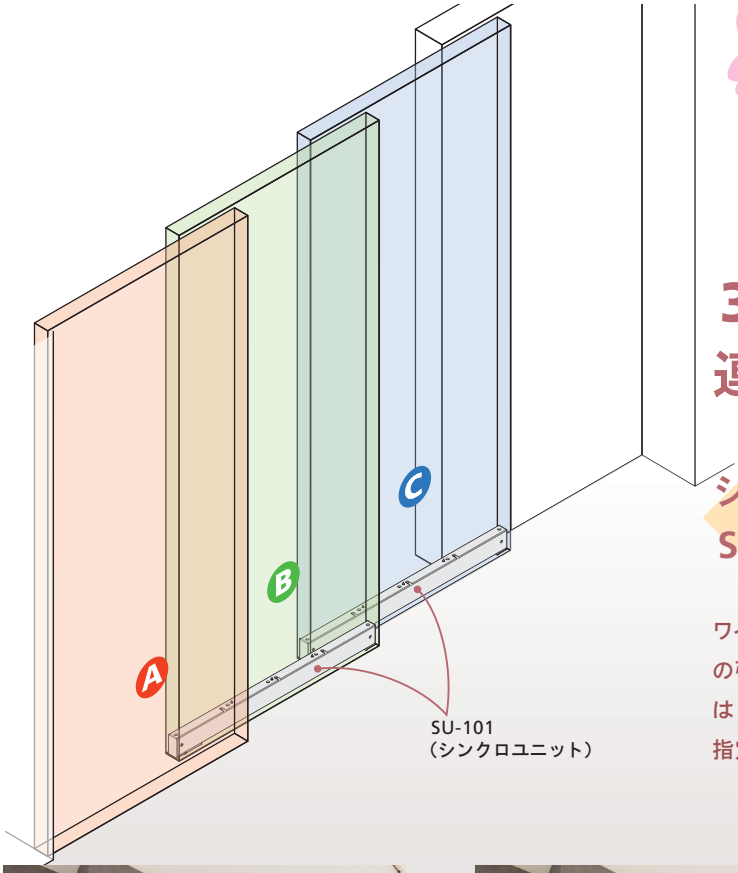
可動ルーバー
LV26-A21 LV26-A05

開き戸・引戸どちらにも使える可動ルーバーで、空気の入れ替えが簡易的に行えます。羽根はコンパクトで、21枚と5枚の2種があり、角度は90度まで調整が可能。どれか1枚を操作するだけで、他の羽根も連動して動きます。カラーはホワイト、ステンカラー、ブラックの3色。羽根の配置方向は縦横自由にできるので、開き戸・引戸のデザインに合わせた設置をすることができます。

LV26-A21

LV26-A05

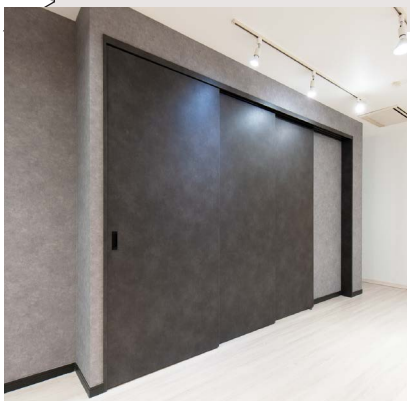
春の新作発表会 2025 in 東京

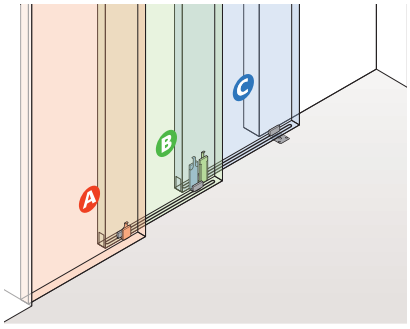


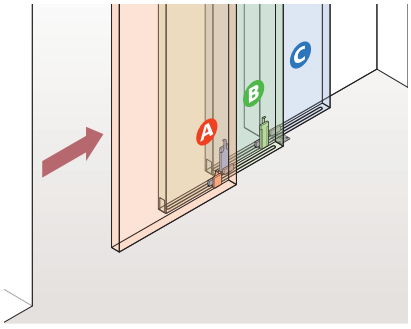
3枚の引戸をスムーズな動きで連動させて開閉

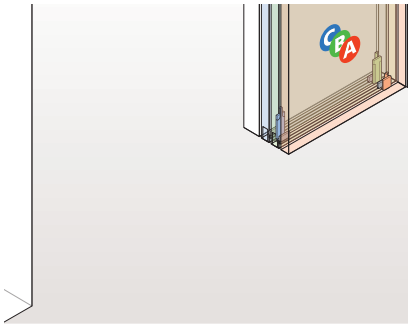
シンクロ連動引戸金具
SU−101〈3本引き〉

ワイヤーシンクロ機構によって、戸Ⓐを動かすと戸Ⓑと戸Ⓒの2枚の引戸も連動し、スムーズな動きで開閉が行えます。引戸の重量は1枚あたり30kgまでOK。SU−101シンクロユニットの長さは、指定の長（900mm以下）で用意が可能です。









亜吐夢金物館のトリセツ

内装金物のパイオニア、アトムリビンテックが誇る金物ショールーム「亜吐夢金物館」へようこそ。
カタログ掲載品をはじめとする取り扱い商品およそ5万アイテムのなかからピックアップした商品を、定期的に入れ替えてご紹介しています。

5f 新商品フロア

おもな展示品
新商品、鎌錠、調整丁番
スライド丁番、取手・ツマミ
戸当り など

ATOMブランドの新商品を中心に展示しています。目線の高さで金物の仕組みを確認しながら操作していただけるよう、ミニチュア建具も多数ご用意。機能についてご理解を深めていただけましたら、各フロアに展示された実物大の建具で、実際の使用感、操作感をご確認ください。

4f 施設イメージフロア

おもな展示品
施設対応金物
キッチン収納、耐震金物
など

施設対応金物をフィーチャーした展示フロアです。高齢者向け施設や、幼稚園、保育園などの園舎、ホテルをイメージしたモデルルーム空間では、実際の施設での使用例に近い状態で商品をご覧いただけます。

3f 折戸金物・引戸金物フロア

おもな展示品
折戸金物・引戸金物

折戸や引戸などのシステム金具の展示フロアです。バリエーション豊富なソフトクローズのラインナップについても重量別に図解するなど、商品の特性を個々にご確認いただけます。

2f LIVIN' ZONE フロア

住宅の間取りをイメージした「LIVIN' ZONE」では、「あれば便利」という発想から生まれた、まったく新しい金物をご紹介（参考出品・試作品を含みます）。理想の住空間をぜひ体感してください。

1f

- アトムCSタワー1階のスタッフに「金物見学」の旨をお伝えください。こちらで簡単な受付を済ませたら見学スタート！

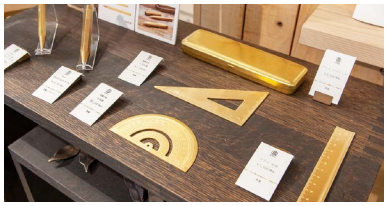
見学や金物に関するご相談、商品展示の有無などお気軽にお問い合わせください

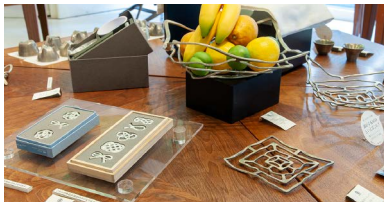
亜吐夢金物館　TEL 03-3437-3440
東京都港区新橋4-31-5 アトムCSタワー内2階～5階
OPEN 10:00～17:00（月～金）
CLOSE 土・日・祝日
https://www.atomlt.com/cstower/

ショールームビュー

オンラインでアトムのショールームを見学できる「ショールームビュー」をアトムHP内に設置しています。気になる商品をクリックすると、写真や動画付きの商品説明をご覧いただけます。

https://www.atomlt.com/cstower_floor_info_2f/





ギャラリーショップKANAGU

「住まいの飾り職人」である当社ならではの視点でセレクトした、つくり手のこだわりが詰まった金属の雑貨＆インテリアを販売している実店舗です。実際に手にとって体感し、職人の「モノ語り」を聞いて購入することができるギャラリーショップ。アトムCSタワー1階にて営業中。
オーダー品や記念品のご相談・ご発注も承ります。

KANAGU

関西出身の旅スケッチ画家が
気ままに歩いてみつけた下町の日常を
その場でスケッチしていきます。

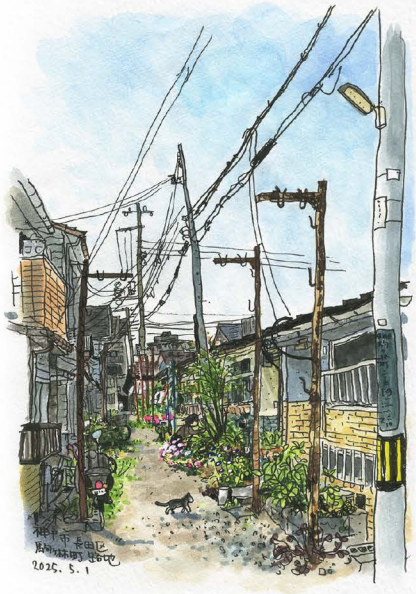
今回は、兵庫県神戸市のそばめし発祥地、
長田区駒ケ林界隈を歩きました。
30年前の阪神淡路大震災で大きな被害を
受けた地域でもあります。

ごとうゆきのコウベ下町探検

長田区駒ケ林界隈編

新長田駅を出て歩き出したとたんにソースの匂いを感じた。長田はなんとお好み焼きやさんの密集度が日本一らしい。次々と人が入っては出ていく様子を、羨ましく思いながらスケッチに専念した。そばめしは今日はお預け。近々絶対に来よう。

駅から数分の公園で勇み立つ鉄人28号は本当にデカかった。陽の光をあびる鉄人の足元で子どもたちが走り回ったりもたれかかったり。平和な光景だったなあ。



アスファルトが敷かれていない、物干し竿がものすごく高いところにある路地に惹かれた。映画のロケ地になったと地元の人が教えてくれた。(左)

駅から歩いていける長田港。ガスタンクや作業中の重機が背景に映る小さな漁港の光景が長田らしく思う。(右)

旅スケッチ画家 **ごとうゆき**
1967年生まれ 兵庫県明石市出身。
現地でスケッチしている時に感じる
日常生活の音や匂い、温度や対話を
大事にしている

読者の声

ものづくりを楽しんで仕事にしている人を取り上げているのが良かったです。今後も期待しています。〈北海道 S・T様〉

今回の接着テープに関する内容は大変面白く、ためになりました。身近にある、いつも使用している物でも知らないことがたくさんあるのだと感じました。このような身近にある物の面白い話をまた聞かせてください。〈群馬県 我武者羅パパ様〉

専門家＝職人が使う道具を見ることは面白いです。中でもノミやハサミ、カンナや包丁といった刃物に惹かれるのはなぜなのでしょう。葡萄の房を切る時に使うハサミにも、特徴やこだわりがあるのでしょう。〈神奈川県 たーさん様〉

接着テープ特集について、さまざまな場所で使われており、各業界で接着技術が発展していると感じた。建築業界でも、より技術が発展すると、これまでとは違う内外装デザインや構造にも応用できると思い、これからも注目したい材料のひとつだと感じた。〈北海道 K様〉

まず表紙が素敵で手にしました。どのページもすごく興味深く読みました。他の媒体のどの記事よりも沖本家住宅が素敵に書かれていました。写真が本当に綺麗です。接着テープのページは、写真に撮ってしまったくらい面白かったです。本当に「エジソンは偉い人」なんですね。ファスナーの記事も読んでみたかったです。〈大阪府 よどみに浮かぶうたかた様〉

最先端の建具デザイン特集。建具は建築物のなかで、必ず必要とされるものです。基本は長方形。そのなかでさまざまな先人たちのデザインが生まれてきました。建具に付属する金物もデザイン性や機能性が必要だと改めて感じています。〈兵庫県 アンドプラス様〉

編 集 後 記

近年では「危険な暑さ」と言われていますが、今年も猛暑となる予想が出ているそうです。水分補給やエアコンの使用はもちろんですが、夏バテしない体調管理も重要とのこと。「旬の食材を食べると体にいい」とよく聞きますが、旬の食材はおいしくて栄養も豊富、さらにお値段もお手頃といいこと尽くし。食材やレシピもインターネットで簡単に調べられますし、今夏は積極的に取り入れ何とか夏を乗り切りたいところです。〈アジフライ〉

INFORMATION

「アトムダイレクトショップ」のご案内

「アトムダイレクトショップ」では、数多くの弊社商品のほか、選りすぐりの注目アイテムをオンライン購入できます。

https://direct.atomlt.com

アトム社員がリレーでお届け
オフタイムの過ごし方 vol.65

広島営業所 **橋本 太**

中国地方の特需営業を担当。
既存商品にとらわれない開発・提案などにも携わる

我が家は、私と妻、長女、次女の4人家族です。オフタイムにはどこに出かけるか家族で事前に話し合うのですが、結局は近所のショッピングモールでガシャポン*をした後、クレーンゲームをしたりして遊ぶことが多いです。以前は、景品のぬいぐるみを狙うことが多かったのですが、獲得するたびにぬいぐるみの数が増えてしまい、いつも後悔してしまいます。そのために現在は、どうしても欲しいとせがまれたモノしかやらないぞと自制してはいますが、よろこぶ娘たちの顔をみるのはやはりうれしいものです。クレーンゲームは、「せっかくお金を使ったんだから、ここでやめたら損をする！　きっとあと1回プレイすればGETできる」という思いに駆られつつ、取れたときの達成感やゲーム中のハラハラ感も相まって、何度も再挑戦をしてしまうというパターンに陥りがち。

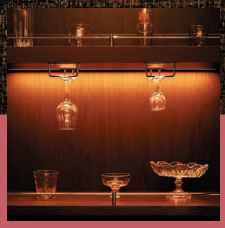
結局、獲得した景品は、ほんとうに欲しかったのかどうかわからないことが多いようです。怖いですね。皆さんもお気を付けください。

特技は、すごく大きな声を出すことです。以前、広島市民球場で野球観戦をしているとき、元阪神タイガースの鳥谷選手、金本選手らにスタンドから声をかけ、手を振ってもらえたことがあるほどです（たぶん私に）。また、アニメゲームも昔から好きなので、アニソンをカラオケで歌ったときは、店員から声が大き過ぎる（？）と注意されたり、家の中でゲームに夢中になった際に声を上げると、近所迷惑になると妻に怒られたりします。お酒を飲んだ際もだんだんと声が大きくなっていくそうです。特技とは言えないかもしれませんが、日々気を付けながら、大丈夫かな？　と思われるぐらい声を張って明るく過ごしております。

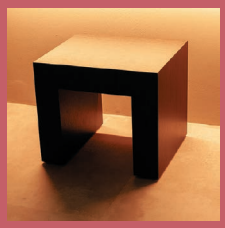
クレーンゲームやガシャポンでゲットした景品。
増えてしまったぬいぐるみは圧縮袋に入れて収納しています

＊ バンダイが製造販売しているカプセルトイの一種

個人情報の取り扱いについて
読者プレゼントにご応募いただいた皆さまの個人情報は、プレゼント発送のほか、商品情報や弊社個展の招待状等の発送に利用させていただく場合がございます。
これらの発送停止をご希望される場合には、速やかに対応いたします。詳しくは弊社HPのプライバシーポリシーをご覧ください。



ホテルをイメージしたエリア、誕生。



アトムCSタワー4階の「非住宅ゾーン」が大きく生まれ変わりました。
既設の「高齢者施設エリア」と「児童向け施設エリア」に加えて、
ラグジュアリーな雰囲気にあふれた「ホテルエリア」を新設。
イメージを大きく一新いたしました。一歩足を踏みいれれば、華やかで
豪華さを感じさせるエントランス。ご来場をお待ちしております。

Atom Livintech アトムリビンテック株式会社

■本社／〒110-8680 東京都台東区入谷1-27-4 TEL.03-3876-0600（代表）
特販事業部　TEL.03-3876-0603　FAX.03-3876-8833
卸売事業部　TEL.03-3876-0602　FAX.03-3876-4435

■アトムCSタワー／〒105-0004 東京都港区新橋4-31-5
アーバンスタイル事業部　TEL.03-3437-3673　FAX.03-3437-3565
亜吐夢金物館　TEL.03-3437-3440　FAX.03-3437-3565

■アトム住まいの金物ギャラリー大阪事業所／〒564-0052 大阪府吹田市広芝町18-5
TEL.06-6821-7281　FAX.06-6821-7282

■札幌営業所／〒060-0002 北海道札幌市中央区北2条西1丁目1番地 マルイト札幌ビル2階
TEL.011-281-3777　FAX.011-281-3778

■前橋営業所／〒371-0805 群馬県前橋市南町3-72-7
TEL.027-223-2651　FAX.027-223-2661

■広島営業所・C／Dセンター／〒733-0037 広島県広島市西区西観音町8-6
TEL.082-291-4235　FAX.082-291-4880

JPX STANDARD
証券コード：3426

www.atomlt.com

「ATOMNEWS」2025年6月号 Vol.221 ●編集・発行／アトムリビンテック（株）ATOMNEWS編集室　〒110-8680　東京都台東区入谷1-27-4